

令和6年度第2回 各務原市男女が輝く都市づくり審議会議事要旨

日時 令和6年10月24日(木) 午前10時00分から正午

場所 各務原市役所 4-3・4-4 会議室

<出席者>竹内委員(会長)、高田委員(副会長)、神戸委員、尾関委員、堀田委員、花田委員、栗本委員、岩田委員、長縄委員、永井委員、志津野委員、柴山委員、下野委員

<事務局>平工市長公室長、古田課長、斉藤係長、後藤主事、渡邊主事

<その他>株式会社サーベイリサーチセンター(プラン策定支援委託事業者)より2名

<司会>事務局

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 議事(以下、議事進行は会長)

(議題第1号)

○第5次かかみがはら男女共同参画プラン(素案)について

(会長) P29の基本理念について、「すべての男女が」というところを「誰もが」に変えることに対して、委員の皆さんの意見をうかがいたい。

(委員) 「誰もが」という表現が良いと思う。

(委員) 国とのつながりに支障はないか。

(事務局) 各務原市男女が輝く都市づくり条例に基づく基本理念を載せている。条例を変える場合には議会で承認を得る必要があり、勝手に直せるものではないため、基本理念の方向性を変えることはできない。ただ、説明書きの中で、「誰もが」に表現を変えることは可能である。こちらは市の条例であり、国とのつながりについては支障ない。

(委員) どちらの表現が良いのか、自分自身では判断できない。ただ、今書いてある「男女」という表現は、「男性/女性」ということではなく、性別を超えてという意味が入っていると思う。昔は男性/女性で区別・差別されていたが、そういった性の在り方を超えて輝こうという意味で代表的な男女という言葉が使っていると理解してきたため、どのタイミングでどちらの言葉を使ったほうが良いかは判断できないが、自分自身で読み替えていけば良いと思う。

(委員) 「男女共同参画」の「男女」どちらにも当てはまらないと感じる市民の方がいる。「男女」の表記を残すところは残して良いと思うが、できるだけ外してあげたいという思いがある。

(委員)・P1 は和暦と西暦が記載されているが、それ以降は和暦だけになっている。和暦だけだとピンとこないため、併記して書いてほしい。

・P12「性別年齢階級別労働力率の推移」のデータが古いのではないか。私が持っている総務省のデータは、30～34代の労働力率が80%を超える。

・欄外の注釈がついていないところがある。性の多様性に関する認知度の調査についての結果があるが、聞きなれない言葉に対し注釈がないためつけてもらいたい。

・ページ数が大幅に減っているが、なぜか。

(事務局) 内容を削減しているということではなく、第4次プランから構成を変更したことで、ページ数が少なくなった。具体的には、第4次プランは各施策のページに基礎調査結果や課題を載せているが、第5次プランでは、施策の内容の前に、現状と課題をまとめて掲載している。

(委員)・基本理念の表記は、「男女が」ではなく、「誰もが」のほうが良い。

・平成のときは見づらさを感じなかったが、令和になってから、和暦で書かれていると何年前のことなのかイメージがつきづらくなった。できればすべて西暦で書いたほうが良いのではないか。

(会長) 作成上のことのため、事務局で検討してほしい。

(委員) 困難を抱える人に対する生活支援や自立支援について、民生委員としてどこまで関わって良いかわからないが、重たい分野だと思う。いろいろな部署が連携していかないと難しい。言葉で言うには簡単だが、重たいことである。

(会長) プランに反映させて、連携強化をうたうことが大事である。

(委員) 「男女」という言葉は区別を感じる。タイトルには「男女」を入れないほうが親しみやすい。

(委員) プランの目標値について、どんどん生活が大変になっていく世の中で、我々は何をしなないといけないか、なんとなくでやってきたことに対して、何がゴールなのか、何を目指しているのかというところが大事だと思う。どうしても男女共同参画プランにいろいろな分野が入るのは仕方ないことだと思うが、たくさんやったから良いということではない。目標値の出典を見てもらうと「市民意識調査」が多い。目標指標の数字を挙げていくとなると、この目標指標が市民意識調査に依存しないほうが良いかもしれない。このままでいくのであれば、これを踏まえたうえで言葉選びなどを考えていくことが大事だと思う。

(会長) 必ず決まったデータを使わないといけないのか、目標や市民意識調査の結果をもって、我々が進めたかどうかの進捗を図るのかなど、根本的なところも問われている。とはいえ、進むべき道を示すのがプランのため、プランの進捗を図るためにはデータも必要だと思う。

(委員) 生成AIが一斉を風靡しているが、AIで問題になっているのが、人間が作った文章を学習させているため、これまでの文章を基に概念をつくっている。男女という言葉

葉やこれまでの法律から文章を作っているため、ジェンダーバイアスの再生成をAI自体がしてしまう。その観点からいくと、このプランというのは生成AIの教師になるものであるため、言葉の使い方を慎重にしていくことは重要であると思う。

そういった意味で「誰もが」という話が出ていたが、この言葉が「こういった印象を与えるのではないか」ということで言葉遣いを変えらるというのは人間にしかできないことであるため、ここは強調しておいたほうが良いと思う。

そこで提案だが、このプランでこの言葉遣いは、市役所として大事にしたい、法律などの関係でどうしても男女と表現しているという注釈をするページをつけると、言葉遣いを意識していることが伝わる。また、タイトルはこういう想いでつけたということも書くと良い。

(会長) 私たちがAIの見本になるようなものを作る一端を担っているということ。ページ数を少なくした、タイトルを変えた、言葉遣いを変えたというような想いを書くことは、他市がやっていなくてもやるべきだと思う。検討して行ってほしい。

(委員) ・「男女が輝く都市づくり」という表記も、「都市」と書いて「まち」とは読めないから、ふりがなを振ったほうが良い。

・一般の人が見ることをベースとして作ると良い。

・「セクハラ」という表記と「セクシャルハラスメント」という表現がバラバラになっている。表現を統一したほうが良い。

(委員) 最後に語録集が出てくると、読み始めに知っておきたかったと思うことがある。冒頭に「後ろに語録集があります」と書いてほしい。注釈も語録集も両方ついていると分かりやすい

(委員) ページ数は多くなるが、両方ついているほうが良い。

(委員) 1ページからちゃんと読む人は良いけど、冊子を途中から読む人は、そのページ以前に出てきた注釈のことは分からないから、語録集もほしい。

(委員) 小学校から高校までの参考書はページの下に注釈が書いてあり、大学の論文になると後ろにまとめて書いてあったりする。

(会長) 一番良いのは注釈もあり、最後のページに用語集もある形式でしょうか。

(事務局) 注釈+巻末に用語集というのも良いと思うし、番号をつけずに、毎回その用語が出てくるたびに注釈をつけるというやり方もあると思う。どういう形式が良いと思うか。

(委員) こういった行政の計画の冊子で毎回注釈が出てくるパターンはあるのか。

(策定支援委託業者) 毎回出てくるパターンはない。

(委員) 毎回でなくて、分からない言葉だけ注釈をつけてもらうと良い。

(会長) ページの下に注釈が出てくるのは最初に登場したときだけとし、それ以降は※を振り、巻末の用語集を見ればわかるようにする。

(委員) 毎回※印を振ると、余計に見づらくなると思う。後ろに用語集があると分かっている

れば、分からない言葉が出てきたら用語集を見に行く。

(事務局) 用語集がついていることを冒頭に記載し、最初に登場したときに注釈をつけ、以後登場したら後ろに書くことにしてよいか。

(委員) 問題ない。

(委員) 最初のページは想いや理念など大事なページだと思うが、そこに用語集のことを載せるのは合わない気がする。大々的に書かなくても良いのではないか。

(委員) 目次のところに書いたらどうか。

(委員) 目次のところには、目次の中に「用語集・・・何ページ」と記載されるため、書かなくても良いのではないか。

(委員) 大抵の人は巻末についていると思うだろうが、わかりづらさを感じる。

(会長) 途中から見る人も、どこに何が載っているか目次を確認するだろうから、目次に用語集のページ数があれば確認してもらえと思う。

(委員) ほかのページと並列で書いてあると見つけづらいのではないか。

(会長) 正解はないと思うので、委員の意見を参考にして作ってほしい。

(委員) 小中学生の参考書では、最初の言葉だけ説明書きを加え、それ以降、重要な言葉が出てきたときは、何ページ参照と書いている。

(委員) P43 主な事業の「メディアにおける人権尊重教育」について、PTA が解散傾向にあると聞いた。もしそうなら成り立たないと思うがどうか。なくなる学校と残す学校があるが、残す学校も今後なくなっていく可能性があると感じた。「学校と連携を図り・・・」という文言のほうが良いのではないか。

(会長) 事務局は再検討してほしい。

次に5次プランのタイトルについて審議したい。意見があるか。

(委員) 第5次は外さないほうが良い。

(委員) 「とも☆きら」というのが伝わらないと思う。

(委員) 「輝く」というのが自発光しろという意味だとプレッシャーに感じる。みんなで一緒に輝いていこう前提なら良い。

(委員) タイトルはコンセプトに近い。タイトルを見た人たちが単に情報(名詞)ではなく、文章としてジャッジできるように、ある程度、動詞になってたほうが良い。言葉の羅列ではなく、どういうタイトルにすれば自分事になるのかという要素を踏まえたほうが良い。この計画の上には、総合計画があると思うため、イコールでなくても、そこも整合性があると良い。

(委員) 各務原未来プランの「未来」がひっかかる。

(委員) 「未来」という言葉を違う言葉に置き換えたい。

(委員) パレットプランがすてきだと思った。「なないろに輝く都市づくり」というようなタイトルでも面白いかもしれない。

(委員) 「誰もがいきいき」という言葉を入れるのが良いかもしれない。「輝く」よりもプレ

ッシャーがかからずに、誰もがいきいきできる、自由に生きられる社会という印象を与えられる。

(委員) いろんな人がいる、色とりどりというコンセプトを取り入れたい。

(委員) 言葉と視覚でモノを感じられる。言葉が先に決まってからデザインに落とししていくのか、デザインも込みで考えていくのか、もう少し考えていかないといけない。

(委員) 輝く、いきいきと言ってしまうのではなく、いろんな人がいるけどいろんな色があって良いよねというイメージが良い。

(会長) タイトルが変われば表紙も変わり、視覚から得る印象も大きく変わると思う。

具体的に言わなくても、男女共同参画が想像できるタイトルが良い。思いついたら事務局に提案してほしい。

(委員) 本誌はページ数が多くて読み切るのが難しいため、概要版を作ると良い。

(事務局) 概要版は作成する。

(事務局) 注釈の話に戻るが、最初に出てきた用語に注釈をつけ、巻末に五十音順に用語集をつける形で良いか。目次ページには巻末に用語集が載っている旨を記載する。

(委員一同) 異議なし

(事務局) 年号は和暦と西暦を併記する形で良いか。

(委員一同) 異議なし

閉会